

サイバー・キャンパス・コンソーシアム
平成21年度第2回統計学委員会 議事概要

I. 日 時 平成21年8月26日(水) 10:30~13:00
場 所 社団法人私立大学情報教育協会事務局

II. 出席者 高橋、中西(座長担当)、今泉、渡辺委員 (事務局 井端、平田)

III. 検討事項

今回は主に、統計学の学士力の具体化についてまとめ方を改めて確認するとともに、次回の検討課題も確認した。詳細は以下の通り。

1. 日本学術会議における学士力まとめの状況

日本学術会議での学士力の検討状況について、同会議での学士力は最低限身につけてほしい能力ではなく、高度なレベルを目標に検討している旨、事務局より報告があった。そのため、本協会での学士力については、大学の現状を踏まえ、まずは昨年度まとめた中間報告同様に最低限必要な能力を中心にまとめていくこととし、分野により必要に応じて世界に通用する高いレベルについてもまとめることにした。

この他、同会議では分野の選定(教育プログラムの統合)も検討されていることから、個々の分野の教育での存在意義を強調していくことが必要であり、**Science for Society** でないと教育で

参考資料 <http://www.scj.go.jp/ja/info/iinkai/daigaku/pdf/s-8-1.pdf>

「6. 分野に関する諸問題について (1) 分野設定の基本的考え方

2. 学士力の具体化のまとめ方

今回は、カリキュラム項目と7つの **Big Idea** の一覧に能力レベルをつけることを予定していたが、今後、学士力の具体化についてこのようなまとめ方でよいのかどうか委員から確認があった。

そこで、事務局より既に具体化を行った教育学委員会の学士力を例示した。教育学の学士力では中間報告に到達の深度や評価が加えられているもので、本委員会でもこれを参考に統計学にあてはめて検討していくことを確認した。また、本委員会ではカリキュラム項目、到達目標、能力レベルまで詳細にまとめているので、これらを少し大まかにしたものを中間報告の学士力に入れていくことにした。

3. 次回までの課題

本委員会で作成したカリキュラム項目等の一覧を参考に、中間報告の学士力に到達度を入れた案を今泉委員が作成し、他委員は能力レベルをどのように中間報告に入れていくべきかあらかじめ検討しておくことにした。

4. 次回委員会

次回は、9月24日(木) 14:00より行い、統計学の学士力の具体化として、これまでまとめてきたカリキュラムを参考に中間報告に到達目標や能力レベルを入れていくこととなった。